

# 「多職種協働研修会」

(日本プライマリ・ケア連合学会長野県支部中南信地区合同研究会)

**日時：令和元年7月14日(日) 13:00～16:30**

**会場：信州大学医学部附属病院外来棟大会議室(4階)(松本市旭3-1-1)**

**対象：学生(医学科・保健学科・他)、保健・医療スタッフ(看護師、保健師、OT/PT/ST、医師、薬剤師、MSW、他)、介護スタッフ(ケアマネージャー、介護福祉士、他)、事務スタッフ、行政職員、他  
施設・経験を問いません**

## 基調講演・ワークショップ指導：

**日本医療福祉生協連合会家庭医療学開発センターセンター長 藤沼康樹 先生**



1983年 新潟大学医学部医学科卒業

現在 生協浮間診療所所長

医療福祉生協連 家庭医療学開発センター センター長

平成23年度 武見賞受賞

日本プライマリ・ケア連合学会理事、医学書院「総合診療」常任編集委員、ジェネラリスト教育コンソーシアム代表、東京医科歯科大学医学部 臨床教授

専門領域 家庭医療学、医療者教育学、プライマリ・ケア研究

**プログラム：(12:00 受付開始)**

**13:00 基調講演 『地域の複雑困難事例に多職種でどう取り組むか』**

**14:00 ワークショップ：「複雑困難事例とリフレクション」**

**15:30 ポートフォリオ発表会**

**16:30 閉会**

藤沼先生の論文「複雑な問題への専門職としての関わり方」(日内会誌 103:2603～2608, 2014)より抜粋

～あまりの困難さに意気消沈することもあるかもしれない。しかし、複雑性の系統的な評価、有効なチームの形成、患者中心のコミュニケーション、そして自分の施設の外に出て、地域の力を借りることが助けになる。そして、たとえ問題解決が不可能であっても、見捨てない、見守る、それなりに落ち着いた状態にさせるということに十分な価値があることを覚えておきたい。～

**定員：80名(事前登録制)、申込締め切り：7月5日(金)**

申し込み・お問い合わせ：(宛先：信州大学医学部地域医療推進学教室 中澤)

A：メールにて [yuichi@shinshu-u.ac.jp](mailto:yuichi@shinshu-u.ac.jp) まで

B：FAXにて 0263-37-2549

申込みの際には、①氏名、②所属(病院・施設名と職種あるいは学校名・学部・学年)

③連絡先メールアドレスをお知らせください。

主催：

信州大学医学部地域医療推進学教室、長野県健康福祉部医療推進課医師確保対策室  
信州医師確保総合支援センター、日本プライマリ・ケア連合学会長野県支部